

令和4年度当初予算に  
盛り込むべき「政策提言」

令和3年11月8日

静岡市議会 「志政会」

令和3年11月8日

静岡市長  
田辺 信宏 様

静岡市議会 志政会  
代表 佐藤 成子

令和3年2月の施政方針の中で田辺市長は、「世界に輝く静岡」の姿とは、「市民一人ひとりが“輝いて”自分らしい人生を謳歌できる安心安全な社会環境が整備されていて、且つ、広大な市域が擁する数多くの地域資源を磨き“輝かせ”、その結果、世界中から人の集まってくる活力ある静岡市」であると述べています。この目標実現に向けた第3次総合計画の期間も余すところ、わずかとなってきており、現在、検証を行い、継承・発展させていく第4次総合計画の策定が進められています。

長引く新型コロナウイルスの影響により市税等の税収が厳しくなり、安定した財政運営には時間がかかると思われます。また、人口減少問題は、全国的課題とは言え、本市でも様々な対策にも歯止めがかからず、人口活力の維持は今後も重要な課題と言えます。5大構想の東静岡周辺整備や清水みなとまちづくりグランドデザインの具現化などの公共投資が計画され、民間活力を取り込み、国の支援も活用することも大事ではありますが、アセットマネジメントの見直しや行財政改革の促進など、政策遂行のメリハリが必要です。さらに、新清水庁舎建設に関わる条例改正や桜ヶ丘病院移転など、市民にしっかりと伝え、「伝わる」情報発信が、今まで以上に必要となります。そして、県との連携も今まで以上に、市長のリーダーシップで推進していくべきと考えます。

志政会は、以上のことを踏まえ、令和4年度の施策、予算編成にあたって以下の事案を提言しますので、実現に格段の配慮をされますよう強く要望致します。なお、本提言に対する回答は、具体的で建設的な回答をお願い致します。

以上

## I. 新型コロナウイルス関連対策

### 1. ウィズコロナ・アフターコロナへの対応

#### (1) 新型コロナウイルスの医療体制強化

- ① 今後の感染拡大に備え、病床及び自宅以外の療養施設確保などの医療体制再構築
- ② 3回目の新型コロナワクチン接種に備え、ワクチンの確保とわかりやすくスムーズな予約・接種のシステム及び、正確・迅速で相手に伝わる情報発信
- ③ 今後の感染拡大時に、やむを得ず自宅療養・待機となっている方へのガイドブックの提供を含めた安心安全な健康観察システムの構築
- ④ 後遺症で苦しむ市民に向けた相談窓口とともに医療体制の構築

#### (2) アフターコロナを見据えた経済対策

- ① 働き方改革の観点からテレワークの普及や定着に向けた取り組み推進
- ② ワクチンパスポートのデジタル化への対応、速やかに発給できる体制づくり
- ③ 中小企業におけるデジタル化の推進
- ④ これまでの事業承継支援に加え、新規事業や事業転換の専門家派遣などの活用支援
- ⑤ 国・県・市からの企業向け支援メニューが検索・申請ができるポータルサイトの導入
- ⑥ 中部横断自動車道開通を受け、観光客の受入れ体制を立て直し、観光振興・経済交流に対し補助金を設置、まぐろのまち静岡推進強化

#### (3) 生活困窮者への支援

- ① 「暮らし・しごと相談支援センター」の周知活動及び関係部署との連携強化

## II. 自治体経営の基盤強化

### 1. 自治体経営体質強化

#### (1) 行財政改革

- ① ICTの利活用に向けた環境の整備
  - (ア) モバイルワーク・在宅勤務環境の整備
  - (イ) アプリを活用した道路・河川等における不具合箇所の通報方法の導入
- ② 業務効率向上への取組みの検討及び計画策定
  - (ア) スマホとの連動などICTを活用した市民サービスの更なる利便性向上
  - (イ) 窓口のキャッシュレス決済の推進などによる来庁者の待ち時間の縮減
  - (ウ) 市のスポーツ施設などの当日利用が可能となる予約システムへの改善

#### (2) アセットマネジメントの推進

- ① アセットマネジメント推進のための庁内体制の確立
  - (ア) 企画、財政、建築の3部門が連携できる体制整備
  - (イ) 有識者と公募市民による外部組織の確立し「外部の視点」を導入

- ② 国と県と市とが連携し、アセットマネジメントを推進すること
- ③ 市営住宅の適正管理  
市営住宅総資産量の適正規模化、長寿命化を図るための改修計画、余剰資産（土地及び建物）の利活用など適正管理すること
- ④ 小中一貫は施設一体化で推進  
隣接する小中学校など、できるところから積極的に推進すること
- ⑤ 学校プールの施設老朽化対策  
学校プールの老朽化対策の一環として、近隣学校のプールの統合、或いは、民間スポーツ施設の利活用などを検討すること
- ⑥ 民間提案型のPFIの推進

## 2. 重点事業計画等の策定

### (1) 清水みなとまちづくりグランドデザインの具現化

- ① 海洋文化都市推進本部の所管範囲の明確化、他局との連携・調整を考え、海洋文化都市推進本部を「局」へ格上げし体制を強化すること
- ② 清水みなとまちづくりグランドデザインLPを重点的に推進すること

### (2) 次世代型エネルギー推進 袖師地区

- ① 市として目指す袖師地区のまちの姿を描いた上でENEOSや県を巻き込んで公民連携協議会においてガイドラインの早期策定に主導的に取り組むこと

### (3) 清水地区医療体制について

- ① 清水区の医療体制の具体的なビジョンの策定と課題解決に向けた対策強化
- ② DMA Tの設置場所を含め災害時の医療体制の再構築

### (4) 中心市街地等活性化対策について

- ① JR静岡駅・JR清水駅周辺のまちづくりについて再開発事業・空き店舗対策を積極的に推進すること
- ② JR東静岡駅・JR草薙駅「駿河まなびのまちづくりグランドデザイン」の具体化に向けた実施計画を策定し積極的に推進すること

### (5) SDGs推進について／ESDの推進

- ① 理念に沿ってSDGsに数値目標を設定すること
- ② 持続可能な開発のための教育(ESD)の視点を取り入れた学習指導で学力向上を目指すこと

※ESDはEducation for Sustainable Development「持続可能な開発のための教育」

### Ⅲ. 安心・安全

#### 1. 健康・福祉

##### (1) 高齢者が生きがいを持ち、地域で自分らしい生活を送ることができる長寿社会

- ① 高齢者がICT化に親しむことができる支援並びに環境整備
- ② 認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」の開館日の拡大、及び出張相談事業を行うなど積極的な活用
- ③ S型デイサービスの利用促進
- ④ 親世帯との同居・近居に対する補助金など、高齢者一人ぐらしのリスク解消を目的にした事業を推進すること

##### (2) 障がいの有無に関わらず地域で共に暮らすことができる社会

- ① 民間企業への就労支援事業所の活動情報発信とともに、市民への情報発信強化
- ② 就労支援事業所の定着支援期間の延長、市の相談窓口としては、支援期間終了後の継続的な訪問声かけ活動の実施
- ③ 障がい者雇用率の遵守に向けた取り組みの推進。

#### 2. 防災・消防

##### (1) 消防力の更なる向上

- ① 広域消防における地域間で消防力に差が生じないような人員配置
- ② 特殊災害対応力向上を目的とした新たな訓練施設の配置、訓練の強化
- ③ 消防団活動への支援
  - (ア) 県が実施している消防団活動に協力する事業所への支援について、市としても独自の減税施策の導入
  - (イ) 「静岡市消防団応援の店」の拡充と応援企業のPR強化
  - (ウ) 消防団員の報酬や手当を増額し処遇を改善すること

##### (2) 大規模災害への備え

- ① 市が策定しているBCPの計画見直し実施予算の確保、訓練の実施
- ② 自主防災組織等育成事業を立上げ、専門家派遣を含めた各自治会の避難所運営マニュアル策定などを支援すること
- ③ 自主防災組織等育成事業を受託できる、NPO等の育成
- ④ 避難所施設への空調機及び省エネ熱交換換気、空気清浄機を設置
- ⑤ 津波避難区域の住民へ、津波避難タワーを含めた高所避難場所の周知徹底
- ⑥ 津波避難タワーの付帯設備として、緊急応急用品など防災備品の備蓄
- ⑦ 津波被害想定区域からの避難市民や、観光地・中心市街地などの帰宅困難者への対応計画を策定すること
- ⑧ 大規模災害時に活躍が期待される民間支援団体間の平時からの連携強化
- ⑨ 被災者支援システムの導入

### **(3)防潮堤整備の早期実現に向け静岡県への要請等**

- ① 沿岸部の防潮堤整備については、スピード感を持って行う必要があるため、地元とともに県に対し早期整備の働きかけを行うこと
- ② 観光等で訪れた方の安心・安全を図るために、地震・津波対策情報の提供を速やかに行える仕組みを県とともに構築すること

## **3. 生活・環境**

### **(1)脱炭素社会への取り組み**

- ① カーボンニュートラルの実現に向けた市としての方針・戦略・実施計画の策定
- ② 市民・企業への周知、効果的な情報発信
- ③ 企業への取り組みについては具体的な支援の策定

## **IV. ひと**

### **1. 文化・スポーツ**

#### **(1)清水エスパルス新スタジアムについて**

- ① 清水エスパルス新スタジアムの建設促進
- ② 現スタジアムの今後の活用方針の検討、合宿誘致でも利用できるシステム検討

#### **(2)「まちは劇場」運営体制の強化**

- ① 「まちは劇場」の広報を強化すること。またパフォーマーへのきめ細かな支援を行うこと

#### **(3)全国規模のスポーツ大会誘致と合宿等誘致に向けた受入体制の整備**

- ① グランドゴルフ、サッカー、ラグビーなどの全国大会及び合宿誘致に向けた受入体制の整備を促進すること
- ② 全国大会補助金の対象基準の見直し、及び参加者への宿泊補助の創設

### **2. 子ども・教育**

#### **(1)子育て支援策の充実**

- ① 放課後児童クラブ待機児童ゼロの実現
- ② 放課後児童クラブの市内同一児童受け入れ体制に向けた計画策定及び民間児童クラブの活用促進

#### **(2)保育所等の環境改善**

- ① 保育所等の職員の多忙化解消
- ② 年度初めの保育園待機児童ゼロの継続と年度途中の待機児童ゼロの実現
- ③ 小学生とのオンライン交流を可能とする機器の整備

### **(3)小中学校関連施設の整備推進**

- ① 校内敷地全域に対応するWi-Fi環境整備及びICT支援員の配置拡大
- ② 特別教室、体育館への空調機設置
- ③ 給食のセンター化推進

### **(4)教員の多忙化解消等への対応**

- ① スクールサポートスタッフの時間拡大
- ② 特別支援教育支援員の拡充（市単独での人的配置）

### **(5)教員の不祥事解消に向けた取組み強化**

- ① 教職員の不祥事防止と資質向上を図るための施策推進

### **(6)教育の質の向上と教員確保**

- ① 外国語教育や小学校高学年教科担任制に対応するための専科教員の配置拡大
- ② 外国人児童生徒が十分に日本語指導等を受けられるように、教職員や外国人児童生徒指導員を増員すること
- ③ 優秀教員制度の推薦枠拡充
- ④ 精神疾患等で休職した教員のバックアップ体制及び代替教員確保体制の充実

### **(7)発達早期支援事業の推進**

- ① より多くの子どもの早期発見・早期介入につなげるため、「あそびのひろば」と「ぱすてるひろば」の受入れ人数の拡大
- ② 早期発見・早期介入のメリットを世間一般に広く理解してもらうための活動推進

## **V. 賑わい・活気**

### **1. 観光・交流**

#### **(1)観光誘客の促進**

- ① 姉妹・友好都市の上越市、佐久市との連携強化を図り交流人口増加策を推進すること
- ② 観光地における公共交通の連続性の向上
- ③ 観光ボランティアの拡充と各観光スポットのストーリー性の充実
- ④ 2023年放送予定の大河ドラマを見据えた観光戦略を策定すること

#### **(2)地産地消の推進**

- ① しずまえ、オクシズ等、地場のものを積極的に活用すること

#### **(3)公園の利用促進**

- ① 規模が大きな公園など駐車場の要望のある公園については、駐車場を整備すること

- ② 無償借地公園制度の対象を拡大し、自治会の広場などで活用している場合も公園同等の支援をしていくこと

## **2. 商工・物流／産業経済**

### **(1) 中小企業支援プラットフォームの充実**

- ① 静岡市中小企業・小規模企業振興条例に基づき実施した意見聴取した事項の具現化
- ② マイナンバーカード普及促進と連携させた市独自の消費喚起対策

### **(2) 企業誘致・留置対策**

- ① 工業団地の整備促進
  - (ア) 高規格道路等を活用した新たな工業団地の創出
- ② 企業立地に関する助成事業の推進
  - (ア) 広報強化を含めた、より積極的な企業立地促進事業の推進
  - (イ) 新型コロナウイルス感染症対策としてコワーキングスペース整備及び利用促進
  - (ウ) 市街化調整区域の企業立地についてインフラ関連企業の追加

### **(3) 産学連携による新産業・新事業創出の促進**

- ① 地域企業による産学連携、新産業創出のため新産業開発振興機構への助成継続
- ② 事業性のある大学シーズの発掘と地元企業による事業化支援を継続すること
- ③ 静岡大学将来構想協議会での議論を踏まえ、静岡市へ理工系・医学系の学部誘致を積極的に推進すること

### **(4) 静岡連携BCP行動指針の策定**

- ① 危機に対して、行政・企業・商工会議所などと連携し、復旧・復興のベースとなる雇用と経済活動を対象とした静岡連携BCP行動指針を策定すること

## **3. 農林水産**

### **(1) 茶どころ日本一をめざした取り組み強化**

- ① 担い手確保を見据えた加工施設機械整備助成、持続性の高い茶生産体制整備の支援
- ② 荒茶のブランド化による価格の維持

### **(2) 鳥獣被害対策**

- ① 鳥獣被害対策対象動物にアナグマを追加すること
- ② 農道用地へのグレーチング設置への助成

### **(3) 荒廃農地対策**

- ① 荒廃農地の解消に向けた、認定農業者、新規就農者の担い手の育成

- ② 令和2年度から実施している「農業環境の担い手に農地集積を進めることを目的とする市独自の補助制度」の継続

## **VI. まち**

### **1. 都市・交通**

#### **(1) 自転車等で市内を観光できる走行空間整備**

- ① 自転車関連死亡事故発生箇所の安全対策強化
- ② 太平洋岸自転車道をはじめ、市内の自転車道をさらに快適空間となるように整備を推進すること
- ③ 観光地等の回遊性向上のために、小型モビリティを活用すること

#### **(2) 交通弱者、買い物弱者対策の推進**

- ① 効率的・継続性を重視し地域コミュニティーバスの運用を推進
- ② コロナ禍で減便されたバスを従来の便数まで戻すよう支援

#### **(3) 大坪新駅の設置**

新駅設置に向け、必要施策の予算措置と事業者との協議スピードを加速させること。

#### **(4) 国道一号線南北道路の整備促進**

静岡国道事務所と渋滞対策ワーキングを精力的に開催し、具体的な対策案を取りまとめること。

#### **(5) 日の出押切線の早期開通**

国道1号バイパス能島ICに接続する道路で、4車線化に合わせた整備が不可欠なため、早期に開通すること

### **2. 社会基盤**

#### **(1) 中部横断自動車道開通に伴う取り組み**

- ① 中部横断自動車道開通を活用した観光・清水港取扱貨物増加戦略の策定
- ② 両河内スマートICのまちづくりデザイン策定

以上